

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人
薫風会

1 法人本部

(1) 経過報告

年	月	日	内容
4	5	17	企業主導型保育施設に対する指導・監査（かぜの子保育園） ※（公財）児童育成協会
		30	監事監査
	6	29	変更登記（資産の総額）
	7	14	参議院議員通常選挙の不在者投票実施（風の家）
		27	立入調査（かぜの子保育園）※北九州市保育課
	8	8	定款変更（さくらんぼ保育園が保育所型認定こども園に移行したことにより「保育所」事業がなくなったがため）
		30	一般指導監査（認定こども園ICHIGO及びアネックスいちご）
		31	一般指導監査（ANNESSO ICHIGO）
	10	31	一般指導監査（書面監査）（認定こども園SAKURANBO）
	12	19	立入調査（かぜの子保育園）※北九州市保育課
		20	一般指導監査（薫風会及び風の家）
5	2	1	北九州市市長選挙不在者投票実施（風の家）

(2) 理事会の開催

年	月	日	議案
4	6	15	1 特別養護老人ホーム風の家 運営規程の一部改正について
			2 かぜの子保育園 運営規程の一部改正について
			3 かぜの子保育園 就業規則の一部改正について
			4 かぜの子保育園 準職員就業規則の一部改正について
			5 かぜの子保育園 給与規程の一部改正について
			6 積立金の積立について
			7 令和3年度事業報告について
			8 令和3年度決算について
			9 令和3年度監事監査報告について
			10 令和4年度補正予算について

年	月	日	議案	
4	6	15	11	評議員会の招集について
	9	28	1	経理規程の一部改正について
			2	特別養護老人ホーム風の家 運営規程の一部改正について
			3	風の家ショートステイ 運営規程の一部改正について
			4	風の里グループホーム 運営規程の一部改正について
			5	かぜの子保育園 就業規則の一部改正について
			6	かぜの子保育園 給与規程の一部改正について
			7	業者選定委員会の設置について
			8	借入金の借換えについて
5	1	27	1	認定こども園SAKURANBOの土地の購入について
	3	15	2	評議員会の招集について
			1	経理規程の一部改正について
			2	役員等賠償責任保険契約について
			3	風の家及び風の里 給与規程の一部改正について
			4	風の家、風の里、かぜの子保育園及び本部 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
			5	特別養護老人ホーム風の家 運営規程の一部改正について
			6	令和4年度積立金の取崩し及び目的外使用について
			7	令和4年度補正予算について
			8	令和5年度事業計画について
			9	令和5年度予算について
			10	評議員会の招集について

(3) 評議員会の開催

年	月	日	議案	
4	6	25	1	定款の変更について
			2	積立金の積立について
			3	令和3年度事業報告について
			4	令和3年度決算について
			5	令和3年度監事監査報告について

年	月	日	議案	
4	6	25	6	令和4年度補正予算について
5	2	7	1	認定こども園SAKURANBOの土地の購入について
	3	25	1	定款の変更について
			2	令和4年度積立金の取崩し及び目的外使用について
			3	令和4年度補正予算について
			4	令和5年度事業計画について
			5	令和5年度予算について

(4) 令和4年度事業計画の達成度

ア 令和4年度基本方針に関して

(ア)「基本理念の周知徹底と具体化」について

各事業所の施設長及び園長は、職員が法人・施設の理念を基に援助行動ができるように、適時、適切な指導及び助言を行った。ほぼ目標を達成することができた。

(イ)「運営体制の強化」について

各事業所の施設長及び園長は、事業所内で起きている諸問題について適切に把握し対処した。

また、法人及び各事業所の長期に亘る安定的な運営を持続可能にするため、北九州銀行及び佐賀銀行からの借入金について、単年度での返済額を削減するため、借換及び返済期間の延長を行った。

(ウ)「地域福祉への貢献」について

地域の自治会や校区まちづくり協議会、ボランティア団体などと良好な関係を築いているが、コロナ禍により地域交流は縮小せざるをえなかった。

地域の方々へ「介護食」の提供や、学童保育の実施などは、未実施となり今後課題を残すこととなった。

(エ)「法人組織の再構築」について

「介護事業及び子育て支援事業における制度上の相違点並びに職員処遇の不均衡による、両事業の一体的管理の困難さ」を解消するという課題に対しては、充分には達成できなかったが、各事業所それぞれで問題点をピックアップし、適切な運営を継続して行った。

イ 令和4年度事業内容に関して

新型コロナウイルス感染症の拡大禍において各事業所は、施設長・園長および全職員が一体となって、万全な予防体制をとっていた。

しかしながら、介護施設においては、利用者は、一部ユニットで感染者が発生したが最小限度に抑えられた。職員についても散発的に発生した。

また、保育園については、保育園児、保護者及び職員から感染者が発生し、休園等を余儀なくされたケースもあった。

しかしながら、いずれも重篤な事例はなく、全国的な状況と同じく収束に向かっているものと思える。

理事会、評議員会及び監事監査の実施については、適宜開催することができたが、法人運営会議及び年末交流会については未開催となった。

また、地域行事や地域交流会等への参加は全般的に低調に終わり、福利厚生としての新たな事業の展開もできておらず課題を残すこととなった。

2 風の家

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
4	5	19	防災訓練	地震・津波・高潮想定訓練（さくらんぼ保育園・かぜの子保育園と合同）を実施
	7	25・26	職員健康診断	全職員対象健康診断を実施
		14	不在者投票	参議院議員通常選挙の不在者投票を実施
	9	複数日	防災訓練	昼間想定 of 総合訓練を実施（部署ごとに実施）
	11	複数日	防災訓練	夜間想定 of 総合訓練を実施（部署ごとに実施）
	12	20	一般指導監査	北九州市保健福祉局による一般指導監査（実地）を実施
5	1	複数日	緊急時対応訓練	緊急時の対応訓練（心臓マッサージ・AED）を実施（部署ごとに実施）
	2	1	不在者投票	北九州市長選挙の不在者投票を実施
	3	複数日	防災訓練	昼間想定 of 総合訓練を実施（部署ごとに実施）
		27～29	職員健康診断	全職員対象健康診断を実施

イ 見学者（2件）

年	月	日	見学者（団体名）	内容
4	7	6	特別養護老人ホーム 藤ノ木園 特別養護老人ホーム 誠光園 特別養護老人ホーム みやこの苑	ノーリフティング研修の一環としてリフト使用の現状と意見交換等
5	3	8	特別養護老人ホーム とくりき春吉園	インスタグラムを見て見学依頼あり。介護食の盛付け等を見学する。

（集計）

（単位：件）

団体区分	特養	他施設	地域住民	学校	行政	その他	合計
件数	1	0	0	0	0	0	1

（単位：件）

見学目的	施設新設	ユニットケア	全般	その他	合計
件数	0	0	0	1	1

ウ 地域交流（2件）

年	月	日	概要	内容
4	11	14	和が家グループホーム評価委員会	グループホーム評価委員会に外部評価者として職員が参加（電話にて参加）
5	3	12	和が家運営推進会議	定例会議に職員が参加
—	—	—	本城校区まちづくり協議会 （健康づくり事業委員会・健康福祉部会）	職員が委員になっているが、本年度新型コロナの影響で、不参加。部会は限られた委員で実施。

エ 施設外研修（17件、延べ40人）

（単位：人）

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	開催場所	主催者	人数
4	5	17	ON-LINE 排泄 個別ケアの基礎を学ぶ	排泄のメカニズム	WEB研修	光洋デイスパース	7
	6～8	複数日	介護ロボットマスター研修	入門編	〃	北九州市	4
	6		ハラスメントオンライン研修	ハラスメントについて	〃	北九州市	1
	7	20	ON-LINE 排泄 個別ケアの基礎を学ぶ	失禁におけるスキンケア	〃	光洋デイスパース	5
	8	20	地域医療研修会	安全な喀痰吸引のコツと吸引の排痰援助	〃	新水巻病院	3
	9	5日間	認知症実践者研修	認知症について	ウェル戸畑	北九州市	1
	3		介護ロボットマスター研修	実践編：介護業務支援	総合保険福祉センター	北九州市	1
	10	17	栄養士研修	食育・アレルギー対応・栄養マネジメントについて	WEB研修	社会福祉研修所	1
	25		介護ロボットマスター研修	実践編：見守り支援	総合保険福祉センター	北九州市	1
	11	16	ON-LINE 排泄 個別ケアの基礎を学ぶ	オムツの当て方基礎編	WEB研修	光洋デイスパース	5
	12	15	応急手当普及員再講習会	応急手当普及員再講習	市民防災センター	北九州市	1
5	10		介護ロボットマスター研修	実践編：介護業務支援	総合保険福祉センター	北九州市	1
	1	25	ON-LINE 排泄 個別ケアの基礎を学ぶ	オムツの当て方応用編	WEB研修	光洋デイスパース	1
	31		施設調理員研修	給食施設における衛生管理	〃	北九州市	1
	2	20	介護ロボットマスター研修	管理編：機器活用を含めた業務改善	総合保険福祉センター	北九州市	3
	14～17		ユニットリーダー研修（実地研修）	ユニットリーダーとして	飯塚市	ユニットケア推進センター	1
	3	22	介護報酬改定を踏まえた今後の介護事業の展開	令和6年介護保険法改正審議意見書全解説 他	WEB研修	北九州市	3

オ 施設内研修（15件、延べ715人）

（単位：人）

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	人数
4	4	複数日	感染症について	新型コロナウイルス感染症予防対策	92
	5	複数日	倫理及び法令遵守	倫理及び法令遵守について	56
		複数日	プライバシー保護について	プライバシー保護について	56
	6	複数日	身体拘束適正化について	虐待の基礎知識・身体拘束について	68
	7	複数日	ターミナルケア研修	ターミナルケアに関する研修	51
		複数日	精神的ケアに関する研修	看取りから初期処置までグリーフケア	51
	8	複数日	医療に関する研修	高齢者の特徴・バイタルサイン	47
	9	複数日	事故防止研修	介護場面でのリスク・危険予知トレーニング	35
	10	複数日	認知症ケア研修	認知症ケアの考え方・ケーススタディ・目先の技術より大切な事	32
	11	複数日	感染症・食中毒予防研修	接触感染対策・飛沫感染対策・効果的は換気方法・食中毒予防	31
	12	複数日	身体拘束適正化について	虐待の基礎知識・身体拘束について	27
5	1	複数日	災害時対応研修	非常時に対する備え・防災の基礎知識	23
	2	複数日	緊急時対応研修	緊急時の対応の基礎知識・心停止・窒息	22
	3	複数日	事故防止研修	介護現場における事故とは・介護事故発生時の対応・介護事故の再発防止	18
	2～3	複数日	救命救急（緊急時の対応）	心肺蘇生及びAEDの使い方を学ぶ	106

カ 実習生の受け入れ状況（3件3人）

（単位：人）

職種	学校名	受け入れ施設	人数
社会福祉士	福岡県立大学	特別養護老人ホーム	1
〃	〃	特別養護老人ホーム	1
〃	福岡西南女学院大学	特別養護老人ホーム	1

介護等体験（1件1人）

職種	学校名	受け入れ施設	人数
教員免許	梅光学院大学	特別養護老人ホーム	1

(2) 施設の利用状況

ア 特別養護老人ホーム (利用定員：140人)

(ア) 在籍者数 (年間目標在籍者数：138人) (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新規入所者数	2	5	2	2	3	4	1	3	1	3	1	3	30	2.5
退所者数	3	3	2	2	2	3	3	2	4	2	4	1	31	2.6
平均在籍者数	133.6	131.6	133.6	134.4	135.6	135.3	134.5	134.1	134.1	133.4	131.2	130.7	1,602	133.5

(イ) 新規入所者の状況

状況	人数	(単位：人)
自宅から	6	
SS長期利用後	1	
老健から	9	
病院から	6	
有料その他	8	
計	30	

(ウ) 退所者の状況

状況	人数	(単位：人)
施設にて死亡	23	
病院にて死亡	2	
長期入院	5	
その他	1	
計	31	

(エ) 平均在所者数 (年間目標在所者数：135人) (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	130.0	129.1	132.7	132.4	132.9	133.7	132.9	132.5	129.8	130.3	129.6	129.4	131.3

※在籍者より、外泊者を除いた数

(オ) 1日平均外泊者数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	3.6	2.4	0.9	2.0	2.6	1.6	1.7	1.7	4.2	3.0	1.6	1.3	2.2

(カ) 外泊者数のうち入院者数 (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院者実数	6	5	3	4	6	3	5	4	8	5	5	4	4.8
1日平均入院者数	3.6	2.4	0.9	2.0	2.6	1.6	1.7	1.7	4.2	3.0	1.6	1.3	2.2

(キ) 平均年齢及び平均介護度 (年間平均)

平均年齢：86.8歳

平均介護度：3.52

イ ショートステイ（利用定員：10人）

（ア）1日平均利用者数（年間目標平均利用者数：7.5人）（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1日平均利用者数	5.5	5.3	4.9	4.8	1.4	6.3	6.1	7.6	6.7	6.9	6.9	7.3	5.8
1日平均入所数	1.4	1.4	1.3	1.3	0.8	1.4	1.6	1.8	1.5	1.3	1.9	1.7	1.5
1日平均退所数	1.5	1.5	1.2	1.3	1.5	1.3	1.7	1.7	1.4	1.8	1.8	1.8	1.5
1日平均宿泊数	4.0	3.9	3.7	3.4	3.0	5.0	4.5	5.9	5.4	5.1	5.1	5.4	4.5

（イ）月間利用者数（単位：人）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
新規利用者数	2	3	3	3	0	2	4	4	2	1	4	6	2.8
月間利用者数	21	24	19	23	7	22	26	29	26	26	27	32	23.5

（ウ）平均年齢及び平均介護度（年間平均）

平均年齢：87.2歳

平均介護度：2.9

（エ）曜日別利用者数

（単位：人）

区分	月	火	水	木	金	土	日
利用者数	6.3	4.5	5.2	5.6	5.1	7.4	6.9
入所	0.9	1.1	1.5	1.4	1.4	2.8	0.7
退所	2.9	0.8	0.9	1.8	1.0	1.2	1.6
宿泊数	3.4	3.7	4.3	3.8	4.6	6.2	5.3

（オ）月間利用日数別人数

（単位：人）

日数	1日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日～25日	26日以上
人数	11.3	7.2	2.3	1.0	1.1	0.7

（カ）月間利用回数別人数

（単位：人）

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
人数	12.1	5.9	2.1	2.0	1.5	0.0	0.0

（キ）地区別人数

（単位：人）

地区	八幡西	若松	八幡東	中間	水巻町	遠賀町	戸畑	他
人数	15.8	6.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.9

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立 (3件)

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
		特別養護老人ホーム	ご家族	入所している姉が、「ユニットスタッフの対応が雑になっている。」と言っていた。具体的には布団の掛け忘れや声の掛け方など。	当事者である入所者様とスタッフの双方に話しを聞く。スタッフは雑にしているとう自覚はなかったが、気を付けるようにと注意をする。その後、入所者様に確認すると、「優しくなった」と言われる。	改善された。
4	7	特別養護老人ホーム	入所者	あるスタッフに対して苦情あり。「入浴の際に洗身を丁寧にしてもらっていない。他のスタッフと比べても雑。」	スタッフに話を聞く。自立促進を考慮してご自身でできる事を促してきた。雑にしていたつもりではなかったとのこと。主任と課長から、自立支援の考え方ややり方、気持ちを発せない方の表情や心情を観察するように指導する。指摘を受けたスタッフと副主任が一緒にご本人謝罪を行う。	納得いただいた。今後、関係性の構築に努めていく。
5	3	特別養護老人ホーム	ご家族	ご家族様に状態報告が足りない指摘を受けた。スタッフは報告していたつもりであったが、ご家族様にとっては足りていなかったと、思いの違いを考えさせられた。	報告を毎日行い、内容も「～だから様子観察しています」ではなく、詳しく内容も伝えるようにした。	納得いただいた。

イ 第三者委員への苦情申立 なし

ウ 行政への苦情申立 なし

エ 意見箱にいただいた意見（3件）

年	月	内容	回答
4	5	おやつの柏餅を楽しみにしていたが 違うものが出た。 (原文通り R4年5月12日付)	楽しみにされていたところ、申し訳 ありません。献立内容に変更がある際 は、前もってお知らせをするようにし ます。提供が難しい内容の際は、でき る限り、同じような食事やおやつを提 供できるように考えていきたいと思い ます。ご意見ありがとうございます。
	10	今日はケーキをありがとうございます。 おつかれ様です。 (原文通り R4年10月23日付)	ご意見ありがとうございます。喜んで いただけて、こちらも嬉しく思いま す。今後も、食事を楽しんで喜んでも らえるようにケーキや行事食を考えて いきたいと思います。
	10	この頃おやつが出ないけどなくなっ たのですか？前は4時に出てました けど。 (原文通り R4年10月30日付)	貴重なご意見ありがとうございます。 おやつは毎日提供させて頂いていおり ます。提供させて頂いている時間に関 しましては毎日定着されておらず異 なっていた為、おやつを召し上がられ たという認識が困難になっていたと思 います。今後は混乱を招かないよう に、おやつを召し上がられたという認 識をして頂く為に、しっかりブロック のスタッフからのお声掛けをさせて頂 き、おやつを提供させて頂きます。

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	363
うち損害あり	249
うち行政報告あり	15

イ 事故の内容 (単位：件)

内容	事故	インシデント	合計
転倒	79	4	83
転落	64	2	66
接触	112	0	112
異食	1	0	1
誤薬	47	23	70
誤飲・誤嚥	1	0	1
無断退去	7	2	9
交通事故	0	0	0
その他	20	1	21
合計	331	32	363

ウ 事故結果 (単位：件)

内容	件数
死亡	1
骨折	5
外傷	85
打撲・捻挫・脱臼	27
内出血	48
火傷	3
物の破損	2
その他	78
合計	249

エ 行政報告事故（１５件）の詳細

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
4	4	5	接触	骨折（左尺骨）	病院受診し骨折の診断。ギブスシーネ固定。
		14	転倒	圧迫骨折（腰椎）	病院受診し骨折の診断。コルセット・湿布・痛み止処方。
		18	転倒	裂傷（左後頭部）	病院受診しレントゲン検査するが異常なし。
		23	転倒	骨折（左大腿骨頸部）	病院受診し骨折の診断。入院し手術行う。
		29	転倒	裂傷（右手小指爪）	病院受診し異常なし。湿布処方される。
	6	5	転倒	骨折（胸・腰椎）	病院受診し骨折の診断。痛み止め処方される。
	7	28	転倒	裂傷（右前頭部）	病院受診し縫合処置行う。
	8	18	転倒	打撲（右胸）	病院受診し打撲の診断。湿布処方される。
	9	5	接触	皮下出血（左足踝）	病院受診し捻挫の診断。痛み止め処方される。
		23	その他	縊死	自殺により死亡
	10	15	転倒	打撲（右頬・右手首）	病院受診し打撲の診断。湿布処方される。
	11	4	その他	バルーン抜去	病院受診しバルーンカテーテル留置する。
		23	転倒	骨折（左上腕骨骨幹部）	病院受診し骨折の診断。入院し手術を行う。
		27	転倒	裂傷（左前頭部）	病院受診し縫合行う。化膿止めと痛み止め処方される。
	12	13	接触	内出血（左下肢付け根）	病院受診しレントゲン検査するが異常なし。痛み止め処方される。

(5) 令和4年度事業計画の達成度

ア 令和4年度基本方針に関して

(ア)「介護の質の向上」について

前年度以前からの継続テーマである、「基本理念の理解、共有」、「利用者の“気持ち”に重点を置いたケア」、「職員の達成感獲得への支援」、「情報共有の充実」については、令和4年度においても施設運営の中で最も重要な課題と位置づけ、勉強会や現場指導を通じて取り組みを続けた。

ノーリフティングケアについては、令和4年度は、「福岡県ノーリフティングケア普及促進事業」のメンター施設として、モデル施設への指導や助言を行った。

また、北九州市が提唱している「北九州モデル」(ICT化・介護ロボット当を活用した介護現場の業務改善手法)の導入支援施設となり、北九州市先進的介護システム推進室の方々などの協力を得て、業務改善に取り組んだ。令和4年度中にいくつかの課題は抽出でき、取り組みも開始したが、まだ道半ばのため、令和5年度以降も継続して取り組んでいく。

(イ)「家族対応の充実」について

昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策で、面会の回数、時間、場所などは制限したままであった。家族との接触は減少したままではあるが、直接会う機会が減っても、家族と利用者、家族と職員の良好な関係を維持するため、定期的な電話や、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を用いての連絡などの状況報告に力を入れてきた。しかし、コロナ禍も3年続いており、ご家族様との接触が減ったことによる弊害も出てきていると感じる。

(ウ) 食事サービスの充実

利用者の状態変化による食事形態の変更等も、お試し期間を設けたりと、ユニットスタッフと栄養士の連携がとれスムーズに行えた。食欲が落ちたご利用者に対する代替品の提供も、多職種間で話し合いながら可能な限りの対応を行った。

季節に合わせた行事食やおやつバイキングを企画した。新型コロナウイルス感染症によるブロック閉鎖や職員の欠員により、4年度は4回しか提供できなかったが、ご利用者の方々に大変好評であった。

(エ) 感染症対策の充実

手洗い・手指消毒・換気に重点を置いて、感染予防をおこなったが、残念なことに令和4年8月に一つのブロックでクラスターが発生した。罹患したご利用者うち、2名の方が入院されたが、回復して現在もお元気に過ごされている。

その後も感染予防を徹底し、クラスターは発生しなかったが、ご利用者から2名の陽性者を出してしまった。

(オ) 管理体制の充実

昨年度同様、令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策が一番の課題だったが、「平時のマニュアル」、「発生時のマニュアル」などのマニュアルを整備し、必要に応じて改正も続けた。

施設の長期的な老朽化対策はできていないが、1階玄関・テラス・窓枠（木製部）の塗り替えと、亀裂が入っていた4階風の家倶楽部の窓ガラスや、その他ヒビの入ったガラスの入れ替えを行った。

(カ) 経営の効率化

各サービスの稼働率は後述のとおり低調であった。

(キ) 施設からの情報発信

HP（ホームページ）やSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を通じて、施設の考え方、日常の風景などの発信を継続した。

イ 令和4年度事業内容に関して

(ア) 特別養護老人ホーム

a 年間利用者数について

1日平均在籍者数目標を138名、1日平均在所者数（外泊等を除く数）目標を135名に設定していたが、実際には、1日平均在籍者133.5名、1日平均在所者131.3名と低迷した。

長期入院者数は減少しており、昨年度に比べ半分程に減っている。年間の新規入所者数と退所者数の差は無い事が、いつまでも所在数が増えない原因である。新規入所者数が退所者数を4～5名上回らなければ、目標は達成できない。しかし、新型コロナウイルス感染症が原因の諸事情により、入所の意思があってもタイミングが合わず遅れたり、逆に施設側の受け入れができない事も多々あり、結果、新規入所者数が伸びなかった。また、新規入所者の受け入れ（面接→契約→入所）を相談員だけではなく、主任2名も行っていたが、職員不足により現場の手伝いに入らざるを得ず、その役割を

担うことが難しい状況であったことも、原因の一つである。

b 事業内容について

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の陽性者はゼロであったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症に振り回された1年であった。職員も自身が感染者となり、ご利用者に感染させてはいけないと、常に緊張の中での業務であった。その上、新型コロナウイルス感染症に罹患、または濃厚接触者となると出勤停止を命じざるを得ず、そのため常時職員不足となり、精神的にも身体的にも疲弊してしまう状況であった。

そんな中でも、万全の感染対策を行った上で、少人数の職員が集まつの勉強会等が、昨年度に比べると実施できるようになった。また、令和4年度からオンライン研修動画サービスを導入し、いつでも視聴ができて学べることで、職員のスキルアップを図ることができた。

(イ) ショートステイ

a 年間利用者数について

平均利用者数7名、稼働率70%を目標値に対し、年間平均利用者数5.8名、稼働率58%と低迷した。

低迷の原因は昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響であった。特に、特養でのクラスター発生時には、ショートステイの職員もユニットの応援に加わったため、8月はほぼ1ヶ月間、ショートステイの受け入れをストップした事が、大きな要因であった。

9月以降は、新型コロナウイルス感染症対策を十分にとった上で、積極的に新規利用者を受け入れ、稼働率は徐々に回復している。

b 事業内容について

令和3年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス担当者会議が書面で行われる事が多かったが、年度の後半になると、それも徐々に緩和されご自宅での開催に変わり、ご家族様との情報交換や共有がやすくなった。

新型コロナウイルス感染症の対策としては、ショートステイのご利用者は、他のサービスを利用されている方が多く、故に感染する確率が高いと言えるため、ご利用中の体調変化には特に注意を払った。

3 風の里

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
4	7	26	職員健康診断	全職員対象健康診断
	9	19	防災訓練	総合訓練
5	1	25	職員健康診断	夜勤職員対象健康診断
	3	26	防災訓練	夜間想定防災訓練実施

イ 運営推進会議

資料配布日時			配布先		特別な議題等
年	月	日	家族	他	
4	4	10	9	3	身体拘束の取り組みについて
	6	10	8	3	身体拘束の取り組みについて（自由に移動できるが目的を果たせない利用者の行動）
	8	10	8	3	身体拘束の取り組みについて（行動制限について）風の里高齢者虐待防止指針について
	10	10	7	3	身体拘束の取り組みについて（夜間帯徘徊者が出口を探して他者の居室ドアを開け寝ている方を起こしてしまう）
	12	10	9	3	身体拘束の取り組みについて（夜間帯徘徊者が出口を探して他者の居室ドアを開け寝ている方を起こしてしまう）
5	2	26	8	3	自己評価・外部評価公表

※新型コロナウイルス感染防止のため、令和4年4月から12月は資料配布と意見聴取のみで、定例報告に加えて、身体拘束防止、高齢者虐待防止、新型コロナウイルス感染拡大防止についてを年間テーマとし報告した。

※令和5年2月の運営推進会議は自己評価・外部評価公表として感染防止に努めながら会議を開催した。

※運営推進会議構成員

利用者家族・地域住民の代表・地域包括支援センター職員・知見者

ウ 地域交流 (0件)

年	月	日	概要	内容
新型コロナウイルス感染防止のため、全面中止				

エ 施設外研修 (0件)

(単位：人)

年	月	日	研修名	開催場所	主催者	人数
—	—	—	—	—	—	—

オ 施設内研修 (10件、延べ70人)

(単位：人)

年	月	日	研修名	内容	参加人数
4	4	22	災害時の対応について	避難経路や利用者個々の避難誘導のシュミレーション	9
	5	複数日	救命救急・緊急時対応のシュミレーション	心肺蘇生術訓練	10
	7	21	身体拘束・虐待防止について	職員倫理要綱・身体拘束要綱・高齢者虐待防止の指針についての説明	10
	9	19	事業継続計画について	感染症・自然災害について	9
	10	21	感染防止と発生時BCPについて	介護事業所におけるBCP	9
	11	23	身体拘束・虐待防止について	身体拘束や高齢者虐待の定義と日常のケアをすり合わせを意見交換	10

年	月	日	研 修 名	内 容	参加人数
5	1	24	感染防止並びに発生時の事業継続計画について	感染症のBCPについて	8
	2	22	非常災害発生時の事業継続計画について	災害時のBCPについて	9
	3	26	事故防止について	事故発生の分析と対策について	8

(2) 施設の利用状況

ア グループホーム (利用定員：9人)

(ア) 在籍者数 (年間目標在籍数：9人)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0.2
退所者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3	0.3
月平均在籍者数	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	8.0	8.2	9.0	9.0	8.6	8.0	104.8	8.7

(イ) 新規入所者の状況 (単位：人)

(ウ) 退所者の状況 (単位：人)

状況	人数
家庭から	0
老健から	1
病院から	0
その他	1
計	2

状況	人数
施設にて死亡	1
長期入院	2
特養入所	0
家庭へ	0
計	3

(エ) 平均在所者数 (年間目標在所者数：8.7人)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均在所者数	9.0	9.0	9.0	9.0	8.4	8.0	8.0	8.0	9.0	8.9	7.6	7.7	8.5

※在所者数は在籍者から外泊者を除いた数

(オ) 1日平均外泊者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1日平均外泊者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	0.0	0.2	0.0	0.1	1.0	0.3	0.3

(カ) 外泊者のうち入院者数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院者実数	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0.0
1日平均入院者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.0	0.0	0.2	0.0	0.1	1.0	0.3	0.3

(キ) 平均年齢及び平均介護度（年間平均）

平均年齢：87.3歳

平均介護度：3.5

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいたご意見

なし

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	14
うち損害あり	7
うち行政報告あり	0

ウ 損害の内容 (単位：件)

内容	件数
死亡	0
骨折	0
外傷	2
打撲・捻挫・脱臼	0
内出血	4
火傷	0
物の破損	0
その他	1
計	7

イ 事故の内容 (単位：件)

内容	事故	インシデント	合計
転倒	4	0	4
転落	3	0	3
接触	5	0	5
異食	0	0	0
誤薬	1	0	1
誤飲・誤嚥	0	0	0
無断退去	1	0	1
交通事故	0	0	0
その他	0	0	0
計	14	0	14

エ 行政報告事故(0件)の詳細

年	月	日	事故の種別	損害の状況	対応および結果
なし					

5) 令和4年度事業計画達成度

ア 令和4年度基本方針について

(ア) 「基本理念を常に念頭においた介護の継続」について

職員一人ひとりが自身の行動規範として、基本理念を意識しながら介護する事が継続できた。

新型コロナウイルス感染症については、感染症対策を守りながら利用者、職員共に感染者を出さずに経過した。

終末期介護で住み慣れた環境で安らかに過すことが出来た。

(イ) 「経営状況の改善を図る」について

最大限の経費節減に努めたが入院による退去後、新型コロナウイルス感染症による影響と思われる新規入居希望者の減少で、稼働率目標は達成できなかった。

(ウ) 「地域貢献を行います。」について

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域貢献活動は実践できなかった。

イ 令和4年度事業内容について

グループホーム（定員9名）

(ア) 年間利用者数について

1日平均在所者数目標8.7人については、8.5人とほぼ目標を達成できた。しかし、一度退所者が出た後、新規入所者が決まるまでに時間がかかってしまった。このような状況は当グループホームだけの現象ではなく、市内の多くのグループホームが入所者の獲得に苦慮しているのが現状である。

(イ) 事業内容について

ご利用者の個別処遇方法、困難事例に関してはその都度話し合いの場を持ちケアの質を上げられるように努める事が出来た。

ご家族との関係については、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらガラス越しの面会や、感染対策を行いながらの短時間面会を行い、ご家族との繋がりが途絶えない様に努める事が出来た。また、面会が中止となった際には推進会議の会議録でご利用者の様子を細かく報告するなどの方法を取りご家族に正確な現状報告する事が出来た。

個々の状態に合わせた食事や水分の提供も行い、特に毎食後の口腔ケ

アに力を入れ誤嚥性肺炎防止に努める事が出来た。

看取り介護は2例経験した。1例は、胃がんの脳転移の方で、ご家族の希望もありグループホームでの看取りも検討したが、精神薬や疼痛コントロールが難しく入院となった。もう1例は入院中に終末期を迎えられたが、ご家族と連絡を取り合い、退院に向けてのカンファレンスに参加したり、終末期について話し合うことで、グループホームでの看取りを希望されるようになったため、退院し、自然な看取り介護を行うことができた。

新型コロナウイルス感染症を始め各感染症に対して利用者、スタッフの体調管理や感染防止対策を行い、感染者を出すことなく経過する事が出来た。

施設の老朽化が目立ち、令和4年8月にエアコンの故障、10月に換気扇の故障など、修繕費用がかさんだ。令和4年度は最低限の補修しかできなかったのも、老朽化対策は今後の課題である。

4 認定こども園ICHIGO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
4	4	1	辞令交付式	4月1日付採用職員の対する辞令交付式（コロナの為、事務局長来園）
	8	30	ICHIGO・アネックスいちご指導監査	北九州市子ども家庭局による指導監査（合同）

イ 行事

年	月	日	行事	内容
4	4	1	入園進級式	園児のみで開催
		27	春の遠足	前日に雨が降ったため、各クラス近隣に散歩に行き園内でお弁当を食べる
	5	23	歯科検診	年長児・年中児対象 加来歯科医による検診を受けた
		18	クッキング	年長児・年中児対象 ホットケーキを作り、デコレーションを楽しむ
		28	保育参観	マシュマロ組/アネックス マシュマロ組 運等遊び（サーキット）と制作（紙コップロケット）を行う
	6	2	健康診断	6/2（アネックスいちご） 6/16・6/23（ICHIGO） 嘱託医：永犬丸小児科院長金先生による、0歳～5歳児までの健康診断
		10	お泊り保育 （年長児）	海の中道海浜公園へバスで遠足に行く シャワー、夕食を済ませ、お楽しみ会に参加する 園庭で打ち上げ花火を見て就寝
		11		
		14	芋苗植え	年長・年中児と芋苗植えをした
		15	ICHIGOキッズZOO フェスティバル	ピクニカ共和国を呼び、動物のふれあいや的当て ゲーム・お菓子釣りなどのゲームを行った
		25	保育参観 （ANNEXミッド）	親子で制作をし、本園に移動し運動遊び（サー キット）を行う
	7	7	七夕まつり 笹飾り	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をした 各クラスで開催した

年	月	日	行事	内容
4	7	15	人形劇	「からこま座」の方が来て全園児が人形劇を観る
	9	2	水かけまつり	コロナのため、クラス別に行く
		17	風の里訪問	年長児が敬老の日のプレゼントを渡した
	10	8	運動会	3.4.5歳児は的場池体育館で運動会を行った
		20	健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長金先生による、0歳～2歳児までの健康診断をする
		27	健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長金先生による、3歳～5歳児までの健康診断をする
		28	秋の遠足	食中毒のため中止
		31	ハロウィン	仮装をし、各クラスを巡回して記念撮影を行った。
	11	7	芋ほり	3歳以上児が芋ほりをした
		15	七五三	七五三の由来を聞き、飴を持って帰った
		19	お遊戯会	未満児：クラス入れ替え制で演目を行った
	12	5	焼き芋パーティ	芋ほりした芋を、畑で焼き芋にした
		17	お遊戯会	入れ替え制で演目を行った（ケーキ・クッキー）
		23	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った
5	1	14	お遊戯会	入れ替え制で演目を行った（チョコレート）
		16	クッキング	食育の一環として、5歳児が豚汁を作り、食べた
		18	キラヴァンツサッカー指導	サッカーを通して体を動かす楽しさやルールを学ぶ（4・5歳児）
	2	3	節分（豆まき）	全園児が各クラスで豆まきをした
		4	保育参観	ミルク組（石鹸作り・風船マットで運動遊び） キャンディ組（ふれあい遊び・制作）
		10	お別れ遠足	雨のため、海響館に行き、ふくふくこども館にて昼食を取り楽しんだ

年	月	日	行事	内容
5	2	13	お茶会	年長児のみ参加（桜井先生・大和先生）
		27	お店屋さんごっこ	全園児が作った商品を年中児と年長児が販売し、買い物ごっこ・お化け屋敷を体験した。
	3	12	卒園式	認定こども園ICHIGOで卒園式を行った
		24	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		31	修了式	在園児の修了証書授与式を行った

年	月	日	行事	内容
			金山川アートギャラリー出展	コロナのため中止
			もちつき	コロナのため中止
			卒園児とあそぼう	コロナのため中止
			ひなまつり	インフルエンザA型流行のため中止

※定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

毎月4回実施 硬筆・英語で遊ぼう・体操教室

毎週3回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

ウ 地域交流等

(ア) ボランティア・職場体験・一日保育士体験

年	月	日	行事	内容
コロナの為中止				

(イ) 地域交流

- a 一緒に遊びましょう 5月～2月、月1回実施（未就園児対象：コロナの
- b 園庭開放 5月～2月、月1回実施（コロナの為中止）
- c なごみんぱーく（子育て支援会議）月1回（コロナの為中止）
- d 地域清掃 毎月1回（第2土曜日：コロナの為中止）
- e 市民センター夏まつりに参加（コロナの為中止）
- f 永犬丸市民センターまつりに参加（子どもの作品展示：コロナの為中止）
- g 育児サークルどんぐりっこ・ほのぼのルームに参加（コロナの為中止）

(ウ) 家庭学級

年	月	日	行事	内容
コロナの為中止				

(エ) 子育て支援（永犬丸市民センター）

- a ほのぼのルーム（未就園児対象：コロナの為中止）
- b どんぐりっこ 5月～2月、月1回（未就園児対象：コロナの為中止）

(オ) 実習生

- a 保育実習 7月（1名）8月（3名）2月（3名）3月（1名）
- b 看護実習 7月（4名）2月（4名）

エ 施設外研修

(単位: 人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
4	5	19	子どもの言葉を豊かにする研修	第一回「子どもの言葉を豊かにする研究」研修会	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	2
		23	乳児保育研修	乳幼児の発達	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		24	乳児保育研修	乳幼児の食育と栄養	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		25	乳児保育研修	乳児保育の環境と保育計画を考える	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		27	実習指導担当者研修会	人材育成の観点から学ぶ保育所実習指導の基本	商工貿易会館2階多目的ホール	北九州市保育士会	1
		30	乳児保育研修	乳児の発達に応じた保育内容	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	1
		31	北九州市保育士会総会リーダー研修会	保育園、認定こども園は専門機関としての発信を	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	1
	6	1	乳児保育研修	子どもとメディアを考える	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		8	幼児教育研修	幼児教育の意義	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	1
		17	乳児保育研修	乳児保育の意義	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	1
	7	20	マネジメント研修	マネジメントの理解	web研修	北九州市保育士会	1
		20	給食献立伝達研修	監査について	web研修	北九州市	1
		22	乳幼児の水遊び・プール活動の安全管理研修	乳幼児の水遊び・プール活動の安全管理について	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		27	障害児保育研修	障害児保育の現状	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
	8	2	障害児保育研修	インリアルによるコミュニケーション・アプローチ	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		5	第2回特別給食部会	保育所における食事に関する研究会にて発表の献立候補決め	陣原市民センター	北九州市	1

4	8	10	障害児保育研修	保育所・認定こども園・幼稚園における障害やリスクのある子どもの保育	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1
		22	第3回特別給食部会	保育所における食事に関する研究会にて発表の献立候補決め	陣原市民センター	北九州市	1
		30	幼児教育研修	幼児教育の意義	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
	9	9	幼児教育研修	小学校との連携	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		14	子どもの言葉を豊かにする研修	第二回「子どもの言葉を豊かにする研究」研修会	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	1
	10	3	保護者支援・子育て支援研修	保護者支援・子育て支援の意義	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		4	保健衛生・安全対策研修	災害への備えと危機管理	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		11	保健衛生・安全対策研修	災害への備えと危機管理	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		24	幼児教育研修	保育内容の研究	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
	11	3	第60回北九州市保育研修大会	全世代型社会保障の構築に向けて	北九州レインボウホール	北九州市保育士会	2
		8	第二回給食献立伝達研修	子どもの基本的な生活習慣の過程に沿った食事の提供のあり方	web研修	北九州市	1
		11	幼児教育研修	これからの教育の方向性	アトホテル小倉ニュータカガリ	北九州市保育士会	1
		15	第46回保育所等における食事に関する研究研修	保育の食育の質を高める	ウエル戸畑	北九州市保育士会	1
		17	保護者支援・子育て支援研修	保育のリスクを考える	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		30	保健衛生・安全対策研修	保険計画の作成と活用 事故防止及び健康管理	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
	12	2	マネジメント研修	問いかけあい・考え合う人材と組織風土を育むMLによるマネジメント	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1
		19	保護者支援・子育て支援研修	保護者に対する相談援助と方法と技術	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1

4	12	26	マネジメント研修	問いかけあい・考え合う人材と組織風土を育むMLによるマネジメント	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1
5	1	17	中堅保育士研修	保育所（園）における感染対策について	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		23	中堅保育士研修	子どもの身体と健康 - 薬について -	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		30	中堅保育士研修	子どもの発達を支える保育環境	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
	2	1	子どもの言葉を豊かにする研修	言葉の発達について	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	1
		6	北九州市保育セミナー	決算書から見る施設運営/子どもたちのための接続可能な園経営を考える	リーガロイヤルホテル小倉	北九州市	2
		17	第三回給食伝達会議	乳幼児の歯と口の健康について	web研修	北九州市	1
		18	北九州市保育士会青年会議承認30周年大会	限度を超えた保護者からの要求への対応/子ども家庭庁の目指すところ	リーガロイヤルホテル小倉	北九州市保育士会青年会議	1
		22	第40回北九州市保育士研究研修大会	保育における風通しのよい職場環境に関する検討～職員間における同僚性イノベーション～	ウエル戸畑	北九州市保育士会	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
4	4	7	園内研修	書類の書き方、提出期限、提出方法について	19
		28	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	14
	5	11	園内研修	みんなで遊ぼう	15
		11	園内研修	感染症について	21
		26	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	19
	6	17	園内研修	保育所保育指針の読み合わせ	16
		24	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	18
	7	7	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	18
		14	園内研修	器械体操や運動あそびの補助について	16
	8	—	園内研修	第三者評価について	—
		—	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	—
	9	8	園内研修	おすすめの絵本について	17
		20	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	16
	10	19	園内研修	衣装チェック	20
		19	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	14
	11	22	園内研修	人権について	13
		22	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	13
	12	—	ケース検討会議	気になる子どもについての討議 (コロナのため回覧)	—
		23	園内研修	お店屋さんごっこの品物提案・作成	5
5	1	—	園内研修	みんなで遊ぼう (コロナのため回覧)	—
		—	ケース検討会議	気になる子どもについての討議 (コロナのため回覧)	—
	2	13	ケース検討会議	気になる子どもについての討議 (コロナのため回覧)	17
		15	園内研修	発達の目安について (未満児クラス)	18
	3	7	ケース検討会議	気になる子どもについての討議 振り返り、まとめ	17
		24	園内研修	発達の目安について (以上児クラス)	17

※リーダー会議：随時

職員会議：月1回

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(單位：人)

(ア) 認定こども園ICHIGO

[illegible]

(1) ANNEX ICHIGO

(単位：人)

[illegible]

イ 延長保育利用児童数（保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00）（単位：人）

[illegible]

ウ 延長保育利用児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	20	20	20	20	20	21	21	21	21	20	20	22	20.5
一日平均実利用数	7	8.2	8	7.4	4.3	8.5	6.6	8.5	6.9	6.7	7.8	7.4	7.3

エ 一時保育利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間利用人数	-	1	2	1	4	10	1	0	0	0	0	10	2.4

オ 見学者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間人数	6	3	9	7	4	8	4	4	9	3	2	3	5.2

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき	0	8	8
打撲	3	132	135
擦り傷	0	78	78
切り傷	0	25	25
挟み傷	0	14	14
ひっかき傷	0	22	22
その他	2	20	22
合計	5	299	304

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
4	4	8	捻挫	頭部打撲	永犬丸小児科を受診する。
	5	26	捻挫	左環指中 節骨折・ 左中指環 指圧捻挫	救急車で市立八幡を受診 全治4週間
	8	31	その他	皮膚潰傷	山本皮膚科受診
	8	31	打撲	擦過創	永犬丸小児科を受診する。
5	2	8	その他	角膜びらん	かわしま眼科クリニック受診。

(5) 令和4年度事業計画の達成度

ア 平成令和4年度基本方針に関して

令和3年度に引き続き、(ア)利用者の側に立つサービスの提供、(イ)地域に根差す施設づくり、(ウ)事業の展開を支える機能の強化と職員育成・業務の見直し(エ)「認定こども園 ICHIGO」「ANNEX ICHIGO」「ANNESSO ICHIGO」の連携を徹底(オ)「幼児教育・保育の無償化に伴い、国が検討中の工程価格(運営費)の計算方法の見直しなど情報収集に努めると掲げたが、新型コロナウイルス感染症より、地域交流など達成できていない部分はあるが、おおむね達成できた。

イ 令和4年度事業内容に関して

(ア)「利用者の側に立つサービスの提供」について

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の流行はあったが、行事をコロナウイルス対応の行事に見直し、前年度よりは行事を行えることができた。

施設見学については、園内で希望者すべてを断ることなく希望や予定を合わせ、受ける入れることができた。

ケガ等の際の保護者への対応の見直しについては、会議などで周知し、園内研修を通して帳票と共に説明して大きな事故もなく見直しできた。だが、ケガについては永遠の課題になるので今後も気を付けていきたい。

利用者が園へ入ることが全くできないため、職員と保護者のコミュニケーションの強化と子ども、保育の様子を知らせるため(SNS、写真)など使用し、伝えることができた。

課外教室の充実については、数は増えていないが申込は順調に増えている。

(イ)「地域に根差す施設づくり」について

いちご保育園及び ANNEX ICHIGO 周辺の市所有の花壇のサポーターを継続的におこなっている。地域の方との交流や活動をすることができた。

HP(ホームページ)やSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)については、保護者向けの行事などの発信することができた。

各クラスの老朽化した場所の修繕などについては、行うことができた。次年度からも中長期に計画し行っていこうと思う。

パンフレット、HP(ホームページ)のリニューアル、リクルートページの強化については写真素材の不足で作成中となっている。令和5年度に完成予定。リクルート用の動画撮影については撮影することができた。

(ウ)「事業の展開を支える機能の強化」について

職員の資質の向上については、クラスリーダー、中堅保育士、各分野別リーダー

一の育成を重点的に行うことで、広い視野で保育士の役割を考え、職員ごとに適切な役割を担えるように指導を行うことができるようになった。

働きやすい職場づくりに関しては、会議等で建設的で活発な意見交換ができる場の設定や、必要な休暇を取りやすい職場づくり等を心掛けて、職場環境整備に努めたが今後もずっと課題である。新型コロナウイルス関連の職員の休みなど姉妹園とともに考案し、職員が長く働けるように配慮することができた。

常に「子どもの人権」を念頭に置き、虐待防止の意識の徹底、保護者の理解と協力の促進に努めた。

個人情報の管理の徹底、守秘義務の厳守については、職員指導を強化した。特に個人情報の管理は、保護者にも適切な理解と協力を求める必要があり、丁寧な説明を行い、同意を得ながら漏えい事故防止に努めた。また、今後も情報管理の安全性に関して、危機感を損なわず慎重に対処していける職員を育成していきたい。

(保護者向け連絡ツール) きっずノートについては、定着している。

新型コロナウイルス感染症については、確実な検温の徹底、玄関での子どもの受け入れの徹底、各クラスの換気の実施、消毒の徹底、濃厚接触の特定、部分休園の対応、保護者対応、職員対応など前年に比べスムーズに行うことができた。

(エ)「認定こども園 ICHIGO」、「ANNEX ICHIGO」及び「ANNESSO ICHIGO」の連携について

「認定こども園 ICHIGO」、「ANNEX ICHIGO」については連携を図ることが出来ている。しかし「ANNESSO ICHIGO」については、コロナウイルスのこともあり職員間などの連携は取れているが交流保育などは行うことが出来なかった。

※ 令和4年10月13日(木)～10月19日(水)体調不良児が多く発生し「サルモネラ菌」食中毒の発生。全51名(1歳児～5歳児)

市の保健所より業務停止命令 令和4年10月25日～10月26日の2日間

保護者からの聞き取り、保存食の検査などを行うが原因として不明。

結果としては、どの段階での食中毒かわからないが園内での発生であろうとのこと(保健所)

→園の対応としては給食の停止(1週間:弁当給食、パン給食)在園児の健康観察と保健所への報告。

給食調理方法の見直しと給食配膳の方法見直しを行う。体調不良児は、園加入の保険での申請をおこなった。

5 ANNESSO ICHIGO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
4	4	1	辞令交付式	4月1日付採用職員に対する辞令交付式
4	8	31	ANESSO ICHIGO 指導監査	北九州市子ども家庭局による実地指導監査

イ 行事

年	月	日	行事	内容
3	4	1	入園進級式	園児のみ
		27	春の遠足	前日が雨だったため予定を変更し、三ヶ森4丁目公園に行き、園内に戻り弁当を食べた
	5	27	ウォークラリー	園内で体操をし、金山川で魚のえさやりを行いスタンプカードを完成させた
	6	2	園児対象健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長金先生による、0歳～2歳児までの健康診断
		29	ICHIGOキッズフェスティバル	園児が浴衣や甚平を着てヨーヨー釣りやコリントなど、室内でゲームをした
	7	7	七夕まつり 笹飾り	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をした。各クラスで開催した
		15	人形劇	2歳児がICHIGOに行き一緒に人形劇を観た
	9	28	運動会ごっこ	室内でかけっこや運動遊びをクラス別で行った
	10	27	秋の遠足	「三ヶ森4丁目公園」へ遠足へ行った
		30	ハロウィンパーティ	絵本を見た後、新聞紙でかぼちゃを作る。クマ役の職員にお菓子をもらったのち、踊りを踊って楽しんだ

年	月	日	行事	内容
4	11	7	芋ほりごっこ	プランターで育てた本物の芋を引っ張って芋ほりをした。
		12	お遊戯会	クラス入れ替え制で全クラス行う。
		15	七五三	七五三の由来を聞き、飴を持って帰った
	12	23	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った。
5	2	1	節分（豆まき）	全園児が各クラスで豆まきをした
		14	お店屋さんごっこ	全園児で作った商品で買い物ごっこを楽しむ
		16	クッキング（マシュマロ）	スイートポテトを作って食べた。
	3	3	ひなまつり	パネルシアターを楽しんだあと、小道具を持ちお雛様・お内裏様になりきって写真撮影を行う。
		24	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		31	修了式	在園児の修了証書授与式を行った

年	月	日	行事	内容
—	—	—	水かけまつり	コロナのため中止
			金山川アートギャラリー出展	コロナのため中止
			クッキング	コロナのため中止

※定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

毎週2回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

ウ 地域交流等

(ア) ボランティア・一日保育士体験

年	月	日	行事	内容
コロナの為中止				

(イ) 実習生

なし

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
4	5	23	乳児保育研修	乳幼児の発達	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		24	乳児保育研修	乳幼児の食育と栄養	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		25	乳児保育研修	乳児保育の環境と保育計画を考える	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		30	乳児保育研修	乳児の発達に応じた保育内容	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	1
	6	1	乳児保育研修	子どもとメディアを考える	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		17	乳児保育研修	乳児保育の意義	web研修	北九州市保育士会	1
	10	3	保護者支援・子育て支援研修	保護者支援・子育て支援の意義	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		4	保健衛生・安全対策研修	災害への備えと危機管理	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		11	保健衛生・安全対策研修	教育・保育施設における事故防止及び事故発生時の為のガイドラインの理解	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
	11	17	保護者支援・子育て支援研修	保育のリスクを考える	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		17	令和4年度第2回地域型保育事業等給食担当者会議	保育園こども園における食育について	web研修	北九州市	1
		30	保健衛生・安全対策研修	保険計画の作成と活用 事故防止及び健康安全 管理	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
		12 19	保護者支援・子育て支援研修	保護者に対する相談援助と方法と技術	ウエル戸畑	北九州市社会福祉研修所	1
5	2	22	第3回地域型保育事業等担当研修	赤ちゃんのために家族のお口もきれいにしましょう	web研修	北九州市	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
4	4	11	園内研修	書類の書き方、提出物の期限、提出方法	7
	5	10	園内研修	ICHIGOキッズフェスティバルについて 感染症について	7
	6	27	園内研修	人権について	-
	7	15	園内研修	運動会について	7
	8	19	園内研修	第三者評価について（回覧及び記入）	7
	9	9	園内研修	お遊戯会について	7
	10	12	園内研修	絵本を楽しむ環境について	5
	11	22	園内研修	人権について	6
	12	23	園内研修	おみせやさんごっこの物品提案	7
5	1	11	園内研修	手作り玩具について	7
	2	22	園内研修	発達が目安（生活面・遊び）	6
	3	15	園内研修	年度の振り返り、新年度の計画	6

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき	0	3	3
打撲	3	17	20
擦り傷	0	1	1
切り傷	0	2	2
挟み傷	0	4	4
ひっかき傷	0	4	4
その他	0	1	1
合計	3	32	35

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
4	7	8	打撲	外傷性歯の打撲	えいのまる小児歯科
	9	27	打撲	頭部打撲	永犬丸小児科
5	1	7	打撲	口唇打撲傷	永犬丸小児科

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(単位：人)

(ア) ANNESSO IHCIGO

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数		25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
在籍児童数	未満児	12	16	16	18	18	19	19	18	18	18	18	18	208
	合計	12	16	16	18	18	19	19	18	18	18	18	18	208
新入園児	未満児	1	4	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	8
	合計	1	4	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	8
退所園児数		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

イ 延長保育利用児童数（保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00）（単位：人）

[illegible]

令和4年度事業計画の達成度

ア 平成令和4年度基本方針に関して

(ア) 利用者の側に立つサービスの提供、(イ) 地域に根差す施設づくり、(ウ) 事業の展開を支える機能の強化 (エ) 連携施設との連携計画を掲げたが、新型コロナウイルス感染症より、達成できていない部分があるがおおむね達成できた。

イ 令和4年度事業内容に関して

(ア) 「利用者の側に立つサービスの提供」について

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の流行、保育園の限定開園や台風での休園など、計画とは違う形でその時々の対応を行うことしかできなかった。

すべての行事を中止するのではなく、現状を把握し新型コロナウイルス感染症の対策を取り行える行事を行ったが十分にはできなかった。

施設見学については、希望者すべてを断ることなく希望や予定を合わせ、受ける入れることができた。

行事アンケートについては、行うことができなかった。

(イ) 「地域に根差す施設づくり」について

HP (ホームページ) やSNS (ソーシャルネットワーキングサービス) については、保護者向けの行事などの発信することができた。

(ウ) 「事業の展開を支える機能の強化」について

働きやすい職場づくりに関しては、会議等で建設的で活発な意見交換ができる場の設定や、責任者を中心に必要な休暇を取りやすい職場づくり等を心掛けて、職場環境整備に努めたが今後もずっと課題である。新型コロナウイルス関連の職員の休みなど姉妹園とともに考案し、職員が長く働けるように配慮することができた。

常に「子どもの人権」を念頭に置き、虐待防止の意識の徹底、保護者の理解と協力の促進に努めた。

個人情報の管理の徹底、守秘義務の厳守については、職員指導を強化した。特に個人情報の管理は、保護者にも適切な理解と協力を求める必要があり、丁寧な説明を行い、同意を得ながら漏えい事故防止に努めた。また、今後も情報管理の安全性に関して、危機感を損なわず慎重に対処していける職員を育成していきたい。

(エ) 「連携施設との連携を計画」について

コロナ禍の中ということもあり、連携はほとんどできなかった。

連携施設の契約についてはコロナウイルスの為、アプローチをかけていないので来年度に継続する。

きつずノートについては、定着している。

新型コロナウイルス感染症については、確実な検温の徹底、玄関での子どもの受け入れの徹底、各クラスの換気の実施、消毒の徹底、濃厚接触の特定、部分休園の対応、保護者対応、職員対応など前年に比べスムーズに行うことができた。

6 認定こども園 SAKURANBO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	行 事	内 容
4	4	1	辞令交付式	コロナの為中止
4	10	31	監査	北九州市保健福祉局総務部一般指導監査による書面監査を受けた

イ 行事

年	月	日	行 事	内 容
4	4	1	入園進級式	子どもたちと職員で短縮で行う
		21	健康診断	嘱託医：西野小児科医院長西野裕先生による、0歳～5歳児までの健康診断を受けた。
		30	春の遠足	3か所に分かれて春の遠足を行う
	5	24	角笛シルエット劇場	若松市民会館にて年長児がシルエット劇場を観劇する
		23	歯科検診	4・5歳児があらたけ歯科医による検診を受けた。
		30	保育参観	5/30～6/3の間に1クラスごとに保育参観を行った
	6	7	クッキング	収穫したじゃがいもを使用して4歳児がじゃが丸を作り食べる
		10	芋苗え植え	3・4・5歳児でクラスごとに分かれて400本の苗を植えた。
		26	クッキング	5歳児がカレーを作り食べる
	6	24	日帰り保育	家族から離れ「おひさまのいえ」で様々なレクレーションをして遊んだ後、保育園に宿泊する（5歳児）
		25		
	7	2	さくらんぼフェスティバル	3グループに分かれ、保護者と一緒にゲームや催し物のなどを楽しむ。
		7	七夕まつり	全園児で集会をして七夕の意味を理解し、笹飾りに願い事をした。
			プール開き	コロナの為中止
			卒園児と遊ぼう	コロナの為中止

年	月	日	行 事	内 容
4	8	—	プール納め	コロナの為中止
	9	9	敬老会	風の家に年長児がプレゼントを届ける
	10	1	運動会	感染症対策を取りながら、リズム遊びや体育遊びを保護者に披露する（3.4.5歳児）
		6	健康診断	嘱託医：西野小児科医院長西野裕先生に来てき、0歳～5歳児までの健康診断を受けた。
		7	運動会ごっこ	感染症対策を取りながら、リズム遊びや体育遊びを行う（0.1.2.歳児）
		21	秋の遠足	バス遠足ややひびきの北公園に歩いていきお弁当を食べる
	11	1	芋掘り	6月に植えた芋を、各クラスごと理事長や風の家の方と一緒に掘った。
		18	焼き芋会	秋の自然を感じながら、掘った芋を焼いて食べた。
		30	お遊戯会DVD撮影①	お遊戯会を本番通りに行いその様子をDVD撮影・写真撮影をする。
	12	3	お遊戯会	保護者入れ替え制で行った（0・1・2・3歳児）
		7	お遊戯会DVD撮影②	お遊戯会を本番通りに行いその様子をDVD撮影・写真撮影をする。
		10	お遊戯会	保護者入れ替え制で行った（4・5歳児）
		20	ギラヴァンツサッカー指導	サッカーについて教えていただきながら、楽しむ（4・5歳児）
		22	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った
		—	もちつき	コロナの為中止
5	1	20	ギラヴァンツサッカー指導	サッカーについて教えていただきながら、楽しむ（4・5歳児）
		27	お店屋さんごっこ	年長児が定員になり、買い物を楽しんだ
	2	3	節分	節分の由来を聞き、各クラスごとテラスで豆まきをした。
		4	保育参観	保護者1名参加で0・2・4歳児クラスが行った
		10	ピアノコンサート	音楽指導の土井先生がいろいろな曲を演奏してくれた
		18	保育参観	保護者1名参加で1・3・5歳児クラスが行った

年	月	日	行 事	内 容
5	2	21	クッキング	5歳児が麻婆豆腐を作って食べた
		27	お茶会	硬筆の櫻井先生を講師に招き、日本の伝統に触れる事ができた
		3	ひな祭り	ひな祭りの由来について知らせていった
	3	8	クッキング	3歳児はホットドック、4歳児はパンケーキを作って食べた
		16	卒園式	参列する人数を制限して、時間短縮で式を行った。
		22	お別れ遠足	5歳児がスペースLABOに行って楽しんだ
		25	お別れ会	在園児から歌や踊りの出し物やプレゼントをもらった。3.4.5歳児はゴムチップで食事をした。
		28	クッキング	5歳児がボルシチとサラダを作って食べた。
		30	修了式	修了証書授与式を行い、進級する喜びを知る

※ 定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

毎月4回実施 硬筆・英語で遊ぼう・体操教室

毎週3回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

(イ) 地域交流

a 一緒に遊びましょう 5月～2月、月1回実施（未就園児対象：コロナの為中止）

b 園庭解放 （コロナの為中止）

c 絵本の貸し出し （コロナの為中止）

e 本城小学校学校行事 （コロナの為中止）

f 1日保育士体験 （コロナの為中止）

g 本城市民センター文化祭 （コロナの為中止）

(ウ) 家庭学級 (コロナの為中止)

(エ) 子育て支援(本城市民センター)

a 子育て支援フリースペース (未就学児対象)

* R4.7月とR4.1月のさくらんぼ広場への参加

(オ) 実習生

a 保育実習 2月 (1名)

b 看護実習 5月 (5名) 6月 (2名) 9月 (4名)

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
4	5	19	子どもの言葉を豊かにする研究研修会	2歳児の言葉について	アクティブリゾーツ福岡	北九州市保育士会	2
		27	実習指導担当者研修会	実習生の受け入れについて	商工貿易会館	北九州市保育士会	1
		31	北九州市保育士会総会	事業報告・決算報告	アクティブリゾーツ福岡	北九州市保育士会	1
	6	8	幼児教育研修	幼児教育の意義	アクティブリゾーツ福岡	北九州市保育士会	1
		30	職場内担当研修	新時代の職場内研修	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
	7	20	第1回給食献立伝達研修	中期献立伝達等	w e b 研修	北九州市	1
		27	障害児保育研修	障害児保育の現状	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
	8	2	障害児保育研修	感覚統合について	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		8	相談員研修	電話相談事例	w e b 研修	北九州市保育士会	1
		10	障害児保育研修	障害やリスクのある子どもの保育	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		30	幼児教育研修	幼児教育の意義	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
		9	幼児教育研修	小学校との連携	w e b 研修	北九州市社会福祉研修所	1
	9	14	子どもの言葉を豊かにする研修	第二回「子どもの言葉を豊かにする研究」研修会	アクティブリゾーツ福岡八幡	北九州市保育士会	1
		24	幼児教育研修	保育内容の研究	web研修	北九州市社会福祉研修所	1
	11	3	第60回北九州市保育研修大会	全世代型社会保障の構築に向けて	北九州リネオホール	北九州市保育士会	3
		8	第二回給食献立伝達研修	子どもの基本的生活習慣の過程に沿った食事の提供のあり方	web研修	北九州市	1
		11	幼児教育研修	これからの教育の方向性	アートホテル小倉ニュータカリ	北九州市保育士会	1
		15	第46回保育所等における食事に関する研究研修会	保育の食育の質を高める	ウエル戸畑	北九州市保育士会	1
5	2	1	子どもの言葉を豊かにする研修	言葉の発達について	ウエル戸畑	北九州市保育士会	2
		17	第三回給食伝達会議	乳幼児の歯と口の健康について	web研修	北九州市	1
		18	北九州市保育士会青年会議承認30周年大会	限度を超えた保護者からの要求への対応/子ども家庭庁の目指すところ	リーガロイヤルホテル小倉	北九州市保育士会青年会議	2

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
5	2	22	第40回北九州市保育士 研究研修大会	こども基本法制度と施行前 に改めて問う保育の質の向 上の取り組み	ウエル戸畑	北九州市保育 士会	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
4	4	18	園内研修	前年度の振り返り・今年度の計画	11
		26	園内研修	園内・園庭でのヒヤリハットと約束事	12
	5	11	ケース検討	気になる子どもについての討議	13
		25	園内研修	書類の書き方について	12
	6	9	園内研修	発達の日安について①	9
		16	ケース検討	気になる子どもについての討議	9
	7	7	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		7	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（5月～6月分）	11
		14	園内研修	不適切保育について・セルフチェック実施	9
	8		園内研修	コロナのため中止	
		26	ケース検討	気になる子どもについての討議	10
		26	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（8月分）	10
	9	9	園内研修	年齢に応じた玩具・遊び方	11
		15	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		15	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（8～9月分）	11
	10	14	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		14	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（9月分）	11
		19	園内研修	職員音楽指導	10
	11	9	園内研修	人権研修・SDG s について	8
		24	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
		24	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（11月分）	12
	12	14	園内研修	発達の日安について②	12
		22	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		22	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（11月分）	11
5	1	13	園内研修	感染症について	12
		25	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
	2	8	園内研修	ヒヤリハットの振り返り	13
		27	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
		27	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（2月分）	12
	3	14	園内研修	今年度の振り返り・次年度について	12
		27	ケース検討	気になる子どもについての討議	12

※リーダー会議：随時

職員会議：月 1 回

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数	25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
在籍児童数	以上児	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	528
	1号	8	8	9	9	9	9	10	10	10	9	9	109
	満3歳児			2	2	2	4	4	5	5	5	5	39
	未満児	37	37	38	38	41	40	39	40	40	43	43	479
	合計	89	89	93	93	96	97	97	99	99	101	101	1,155
新入園児	以上児	8		1			1		1				11
	未満児	9		3		3			1		3		19
	合計	17		4		3		1	2		3		30
退所園児数						1			1			3	5

イ 延長保育利用児童数 (保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日平均実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 延長保育利用児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	21	21	20	18	15	18	18	18	18	22	22	23	19.3
一日平均実利用数	5.8	6.3	6.3	6.3	3.6	5.6	7	7.1	6.1	7.4	6.5	7.8	6.3

エ 一時保育利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間利用人数	0	16	1	6	2	0	1	7	8	7	18	22	7.3

才 見学者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間人数	0	6	5	3	4	8	10	11	11	3	6	3	5.8

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき		5	5
打撲	1	48	49
擦り傷	1	41	42
切り傷		25	25
挟み傷		1	1
ひっかき傷		10	10
その他	2	5	7
合計	4	135	139

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
4	4	21	その他	左小指捻挫	整形外科受診、経過観察後異常なし
	4	28	擦り傷	右肘打撲擦過創	整形外科受診、経過観察後異常なし
	9	16	その他	左上腕骨顆上骨折	整形外科受診、ギブス固定 計6回通院後完治
	12	26	打撲	頭部打撲	整形外科受診 経過観察後異常なし

(5) 令和4年度事業計画の達成度

ア 令和4年度基本方針に関して

令和4年度は、前年度に引き続き、(ア)利用者の側に立つサービスの提供、(イ)地域に根ざす施設づくり、(ウ)事業の展開を支える機能の強化、を掲げたが、新型コロナウイルス感染症により、達成できていない部分がある。また、認定こども園 SAKURANBO に移行したので、ICHIGO と連携して保育・運営を進めた。

イ 令和4年度事業内容に関して

(ア)「利用者の側に立つサービスの提供」について

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症対策の中での保育となり、その中でも常に「子どもの人権」、「個人情報保護」を意識し、職員の言葉遣いや態度などに配慮し、守秘義務の遵守についての努力を継続した。

また、保育実践についても、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、年齢別に保育計画、指導計画、及び個別計画を作成し、成長に応じた適切な保育を行った。

特に、園行事に関しては、感染症対策をとりながら規模を縮小して、保護者にアンケートを実施し、保護者のニーズを把握し、行事に活かしていくことができるように努めた。

また、職員の質的向上を目指し施設内外での研修に、積極的に参加させることで、実践に必要な知識・技術の習得と充実に努めたが、新型コロナウイルス感染症により、大部分の研修が中止となる中で、オンライン研修については積極的に参加した。

また、処遇改善に伴うキャリアアップに伴い、クラスのリーダー、中堅保育教諭、各分野別リーダー、の育成を重点的に行うことで、広い視野で保育士の役割を考え、職員ごとに適切な役割を担えるように指導を行うことができるようになった。

3歳以上児の保育の無償化に伴い、給食を主食も提供する完全給食にしたが、子どもたちには温かいご飯が食べられる、保護者には朝の忙しい時間助かる、と好評である。

さらに、統合保育（気になる子どもの対応）については、北九州市立総合療育センター地域支援担当保育士の指導を受けながら、子どもの個性を活かしながら、まわりの子どもたちとの関係構築を行うことで、楽しく保育園生活を送ることができるように心がけた。

各種園だよりを活用して、広く地域に子育て情報を発信したり、未入園児の保護者からの相談を受けたりするなど、子育て支援に取り組んだが、これも新型コロナウイルス感染症により、中止となった。

また、菜園活動で、季節の野菜を育て収穫して食べたり、保護者へのレシピの紹介、アレルギーの子どもへの除去食の提供など、食育にも力をいれた。

天候に左右されず遊べるデッキを有効利用し、コロナ禍の中で密にならず、子どもたちがのびのび遊ぶ姿を保護者に紹介したところ、楽しそうに遊んでいると保護者にも喜ばれている。また 0、1、2 歳児の運動会ごっこもデッキで行ったが、見やすく応援しやすいと好評だった。

苦情・意見・要望については、その都度、保護者と話し合い、解決していくように努めた。その学びを活かした保護者対応を心がけ、意見や苦情につながるような事例はなかった。今後も継続して、子ども、保護者の様子の変化等を敏感に察知できる能力を向上させ、かつ、速やかな対応に努めていく。

令和 2 年 2 月より、新型コロナウイルス感染症の流行で、子どもも職員も、消毒、手洗い、マスク着用等衛生面には十分注意し、体調管理にも気をつけた。また北九州市からの衛生管理マニュアルを職員間で回覧し、周知徹底している。その中で、国の方針に従い、R5.3.13 より、子どものマスクについては保護者の判断で自由に行っているが、職員についてはマスクを着用して保育をしている。

（イ）「地域に根ざす施設づくり」について

「幼・保・小連携」の一環として、小学校教師による一日保育士体験は 5 年目となったが、今年度も、新型コロナウイルス感染症により中止となる。

地域の文化祭や敬老祝賀会では芸能出演の依頼を受け、年長児が歌やダンス、楽器演奏などを披露し、高齢者からあたたかい拍手を浴びたことで、勇気と自信につながる貴重な体験をすることができ

ていたが、新型コロナウイルス感染症により今年度も中止となる。

地域の方との餅つきも、新型コロナウイルス感染症により中止となる。

高齢者施設「風の家」との交流については、利用者に七夕飾りを贈りまた、敬老の日のプレゼントは年長児が、カードスタンドを作って渡し喜ばれた。

今後も、行事を中心とした同施設や地域の年長者との交流、「幼・保・小連携」を、園児の心の育ちや学びに活かしていきたい。

また、未入园児を対象とした「一緒に遊びましょう」は、地域に周知され、参加者が増えていたが、今年度も新型コロナウイルス感染症により中止した。本城市民センターの未入园児による「さくらんぼ広場」には職員を派遣して、子育て支援と地域交流をしている。

(ウ)「事業の展開を支える機能の強化」について

令和4年度はすべての面で、新型コロナウイルス感染症対策をとりながらの事業展開となった。保育の目標を達成するために、基本となる、保育理念・保育方針・保育目標に基づいた実践を行い、さらに、保育内容の自己評価及びこれに基づく改善に努めた。

職員の質の向上に向けては、子供の保育及び、保護者に対して保育に関する助言が、適切に行えるように、自己評価に基づく課題等を踏まえ、できるだけ保育園内外の研修を受講させた。

研修内容は、会議等の場で共有する環境を設けることで、知識を共有し職員全体の意欲向上も図った。

今後とも、有意義な研修を、計画的効果的に活用していきたい。令和4年4月より、「認定こども園 SAKURANBO」に移行したので、姉妹園の「認定こども園 ICHIGO」と連携して、職員の資質向上に取り組んでいきたい。

7 かぜの子保育園

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
4	4	28	防災	避難・初期消火訓練
	5	12	健康管理	園児健康診断
		17	立ち入り調査	児童育成協会による指導・監査
		19	防災	高潮の際の避難（風の家、さくらんぼ保育園合同）・通報訓練
		26	防災	避難・初期消火訓練
	6	9	健康管理	園児歯科健康診断
		16	防災	不審者訓練・通報訓練
	7	8	防災	避難・通報訓練
		25～27	福利厚生	職員健康診断
		27	立ち入り調査	北九州市子ども家庭局子ども家庭部保育課による指導・監査
		28	防災	避難・通報訓練
	8	26	防災	避難・通報訓練
	9	20	防災	不審者訓練・通報訓練
		30	防災	避難・通報訓練
	10	14	防災	地震の際の避難
		31	防災	避難・通報訓練
	11	24	防災	避難・通報訓練
	12	14	防災	不審者訓練・通報訓練
		19	立ち入り調査	北九州市子ども家庭局子ども家庭部保育課による指導・監査
		27	防災	避難・通報訓練
5	1	19	防災	地震の際の避難・通報訓練
	2	10	防災	地震の際の避難
		28	防災	避難・通報訓練
	3	28	防災	避難・通報訓練

イ 行事

年	月	日	項目	内容
4	5	2	こどもの日の集会	特別メニューとお祝いイベント
		26	遠足	本城陸上競技場でおやつとジュースを飲む
	7	7	七夕会	季節の催事を体験する
		下旬	水遊び	年齢に応じたプール遊び開始（8月まで）
	10	14	遠足	本城陸上競技場でおやつとジュースを飲む
		31	ハロウィン	季節の催事を体験する
	12	22	クリスマス会	季節の催事を体験する
5	2	3	節分	豆まきと特別メニュー
	3	3	ひな祭り	季節の催事を体験する
		31	お別れ式	転園児童とのお別れ

※誕生会：毎月（該当児童がいない場合はお楽しみ会）

※職員会議：毎月1回

ウ 地域交流（0件）

年	月	日	概要	内容
なし				

エ 施設外研修（14件、延べ14人）

（単位：人）

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
4	7	12	地域型保育事業等給食担当者研修	職務遂行上必要な知識や技能の習得	zoom	北九州市保育課	1
		29	認可外保育施設保育従事者研修	乳幼児に対する心配蘇生	生涯学習総合センター	北九州市保育課	1
	8	19	児童虐待対応リーダー養成研修会	虐待対応リーダーを養成する	YouTube	北九州市保育課	1
	9	複数日	保育安全研修	安全安心な保育	オンライン	児童育成協会	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
4	10	後半	ヤングケアラー支援	ヤングケアラーの現状と支援の課題	YouTube	北九州市児童虐待防止担当	1
	11	複数日	施設長研修	施設の運営管理、保育の質の向上	オンライン	児童育成協会	1
		2	ノロウイルス食中毒予防講習会	ノロウイルスに関する知識や対処法	ウェル戸畑	北九州市食品衛生協会	1
		17	地域型保育事業給食担当者研修	基本的な生活習慣習得～食事の意義～	zoom	北九州市保育課	1
		後半	児童虐待問題市民講座	虐待防止のための子ども家庭支援の仕組み他	YouTube	北九州市子ども子育て支援課	1
		16	認可外保育施設保育従事者研修	乳幼児に対する心配蘇生法	北九州市立男女共同参画センター	北九州市保育課	1
		23	希望のバトンフォーラム2022	0歳児からの学びが未来を拓く	オンライン	福岡県幼児教育支援センター	1
5	1	25	認可外保育施設保育従事者研修	子どもの基本的な生活習慣習得について	生涯学習総合センター	北九州市	1
	2	21	地域型保育事業等給食担当者研修	職務遂行上必要な知識や技能の習得	オンライン	北九州市	1
	3	15	地域保険関係職員研修	健康寿命延伸のために幼少期から取り組むお口の健康づくり	YouTube	北九州市保健福祉局	1

オ 施設内研修 (18件、延べ116人)

(単位：人)

年	月	日	研修名	内容	参加人数
4	4	22	保育理念・保育基本方針等について	法人の理念を知り、それぞれが保育とつなげていく	11
	5	26	救急救命	誤嚥・窒息の際の対応	11
			事故・ヒヤリハット検討	4月の事故検証と、事故の報告について	
	6	23	救急救命	緊急時対応シミュレーション	12

年	月	日	研 修 名	内 容	参加人数
4	7	28	2歳児の現状と課題	2歳児のそれぞれの課題について	11
			事故・ヒヤリハット検討	6月の事故の検証と事故報告の大切さについて	
			研修報告：給食担当者研修	献立の立て方・食中毒他について	
	8	—	コロナウイルス感染症により延期	—	—
	9	22	1歳児の現状と課題	1歳児のそれぞれの課題について	11
			0歳児の現状と課題	0歳児のそれぞれの課題について	
			事故・ヒヤリハット検討	事故報告書の書き方・必要性	
	10	27	虐待防止	人権擁護のためのセルフチェック	11
			研修報告：虐待	北九州市の虐待の状況について	
	11	22	感染症対策	感染症対策とコロナウイルス感染症について	11
			研修報告・ノロウイルス食中毒予防講習会	ノロウイルス感染症対策について	
			研修報告：ヤングケアラー支援	ヤングケアラーとは	
			研修報告：キャリアアップ研修障がい児保育	障がいを持つ子供への支援	
			研修報告：企業主導型保育事業所保育安全研修	事故防止等について	
			事故・ヒヤリハット報告・検討ヒヤリハット報告、検討	ヒヤリハットについて	
	12	22	食育	保育園における食育の目標	12
			研修報告：キャリアアップ研修保護者支援・子育て支援	保護者の支援について	
			研修報告：認可外保育施設保育従事者研修	乳幼児に対する心配蘇生	
5	1	—	コロナウイルス感染症により延期	—	—
	2	23	事故対策（睡眠時突然死症候群・誤嚥防止）	内容の理解と事故を減らすためのポイント	11
			障がい児保育	良いところを生かす保育	
			児童虐待問題市民講座	児童虐待問題市民講座	
	3	23	子育て支援	保護者の悩みを理解する	15
			研修報告：給食担当者研修・地域保険関係職員研修	口内の健康づくり	
			研修報告：希望のバトンフォーラム	0歳児からの学びが未来を拓く	

(2) 施設の利用状況 (利用定員19人)

ア 在籍園児数(月初時点)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入園児数	4	1	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	10	0.8
退園児数	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	7	11	0.9
在籍園児数	17	18	20	20	20	20	20	18	18	18	19	19	227	18.9
うち地域枠	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
うち連携企業枠	3	3	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5		
うち自社枠	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5		

※ 退園理由：幼稚園に転園11名

イ 年齢別平均在園児数

(単位：人)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
在園児数	1.6	9.0	8.3	0.0	0.0	0.0	18.9

ウ 一時預かり事業利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
のべ利用児童数	1	3	2	1	1	1	1	1	1	2	0	0	1.2

エ 延長保育事業利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
のべ利用児童数	1	5	3	0	0	1	0	1	3	3	2	3	1.8

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいたご意見

なし

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	155
うち損害あり	139
うち行政報告あり	0

ウ 事故結果 (単位：件)

内容	件数
死亡	0
意識不明	0
打撲・発赤	81
骨折	0
火傷	0
創傷	43
口腔内受傷	6
その他	9
計	139

エ 行政報告事故の詳細

なし

イ 事故の内容・誘因 (単位：件)

内容	インシデント	事故	計
死亡	0	0	0
遊具等からの転落・落下	1	0	1
自らの転倒・衝突	1	108	109
子ども同士の衝突	0	11	11
玩具や遊具等の安全上の不備	0	0	0
他児からの危害	0	7	7
アナフィラキシーショック	0	0	0
溺水	0	0	0
その他	12	15	27
計	14	141	155

(5) 令和4年度事業計画の達成度

ア 令和4年度基本方針に関して

(ア)「保育の質の向上」について

「基本理念の理解、共有」を重要な課題として位置づけ、施設内研修や現場で、職員全体が理解し、実践できるよう取り組み続けた。また、職員間で子どもや保護者の情報を細かく共有し、日々の保育につなげる環境づくりを図った。

(イ)「保護者対応の充実」について

子どもの様子をこまめに報告し、また、家庭での様子を保護者と共有することによって、より良い信頼関係を気付くよう取り組み続けた。

(ウ)「地域の子育て支援」について

地域枠の利用者の受け入れによって少しは貢献できたが、新型コロナウイルス感染症対策もあり、新たな取り組みをすることはできなかった。

イ 令和4年度事業内容に関して

(ア) 定員変更について

3歳以上児になると大規模保育園や幼稚園を希望する保護者が多くなり、3歳以上児を確保することが難しいため、11月から定員を25名から19名に変更した。それにより、基本単価が上がり、令和4年度は黒字になることができた。

(イ)「質の高い保育を実践」について

- a 目的別のミーティングや各人とのコミュニケーションによって、保育現場での様々な課題を共有し、解決、発展させることはできた。今後は、より活発な意見交換ができる雰囲気職場づくりに取り組んで行くことを考えている。
- b 職員全体で子どもの個性や発達を共有し、それぞれに応じたきめ細やかな保育の実践に取り組むことができた。自らが受容されることで、自他ともに肯定できる子どもの姿を目指し、継続して取り組んでいく。

(ウ)「保護者との連携・支援」について

- a 連絡帳や保育業務支援ソフトでの一斉連絡等を通して、園からの情報を分かりやすく伝達することができた。また、インスタグラム

での写真や動画を通して、子どもたちの園での様子を具体的に示すことができ、保護者からも好評を得ている。

b 担当保育士を中心に、それぞれの家庭環境を考慮した子育て支援を心がけ、保護者と連携を図ることができた。しかし、こちらからの支援の内容がうまく伝わらないなど、コミュニケーションの取り方の難しさを感じる場面もあった。引き続き、保護者との信頼関係の構築やコミュニケーションの充実に力を入れていきたい。

b 保護者支援のための研修を行い、それぞれが保護者支援について考える機会を設けることができた。

(エ) 「地域の子育て支援」について

a 地域の方のための「子育て相談室」に関しては、コロナウイルス感染症の影響もあり、実践することができなかった。

b 連携企業という制度を地域の企業に知らせたり、企業と園をつなぐネットワークに参加したりし、育児休業等からの復帰や入社がスムーズにできるよう支援した。

(オ) 「新型コロナウイルス感染症対策」について

a 保育課、児童育成協会、厚生労働省からの最新の情報にアクセスし、それらに基づく対策の整備を都度行い、感染症対策に努めることができた。

b 子ども、職員共に体調管理を徹底し、しっかりと感染症対策を行ったが、園内での感染を完全に防ぐことはできなかった。しかし、保護者、職員にも、個人情報の管理は徹底しつつ、園内の状況を正しく発信することで、混乱を招くこともなく対処することができた。